

(仮称)二見図書館 整備計画(素案)に対するパブリックコメント結果

明石市プロジェクト推進室本のまち担当

1 意見募集期間

2024年(令和6年)4月15日(月)~5月24日(金)

2 募集結果

10名の方から47件の意見を頂きました。

3 意見概要と市の考え方

提出していただいた意見の概要と市の考え方は以下のとおりです。

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	本館と同様に席と席の間に机の上に仕切りやついたても設けてください。子ども席についてはこの限りではなくても良いかもしれません。	施設を快適に利用していただけるよう、いただいたご意見も参考にしつつ、什器や設備の整備について検討してまいります。
2	椅子は背もたれに向かって座面や手摺に傾きのあるものや座面がU字になっているものではなく、座面が水平なものとしてください。長時間座っても身体に負担のかかりにくいものとしてください。	
3	エアコンの風があたりっぱなしになったり、寒すぎたり暑すぎたりする席が少なくなるように整備してください。利用者の要望に対して風向きや風量、温度設定を個別に変更して対応できるように整備してください。	
4	ライトを設置するなど、机や読書スペースが、影になる等せず、読書に適した照度を確保できるように整備してください。	
5	スペースの有効活用のために、閲覧用の机は円形ではなく長方形としてください。円形の机より長方形の机の方が同じ面積に対する収容能力が高いです。また、例えば4人用の円形の机に2人が座る場合、隣か正面の関係となり読書への集中が阻害されます。結果的に円形の机だと長方形の机より2人以上座ることが少なくなると考えられます。	
6	防音・遮音・吸音性を高めたり、周辺店舗からの音・館内放送・BGM等が聞こえないようにするなど、静かな環境で読書ができるように、整備してください。	

7	免震棚を採用する等、地震の際に書架の転倒や図書の飛び出しなどにより、負傷者が出たり、避難を難しくしたり、復旧を難しくしたりすることにならないように整備してください。書架の倒れ易い方向や図書が飛び出し易い方向に席を配置しないようにするなど、書架と席との関係にも配慮してください。	いただいたご意見も参考にしつつ、安全対策を徹底するよう、今後検討してまいります。
8	ガラスを使用する場合は合わせガラスを採用する等、ガラスの飛散や物の落下等で負傷者が出たり、通路が塞がれたりしないように整備してください。	
9	開館前に並んでいたりして不審者がいた場合、図書館内に繋げる非常ボタンをつける等安全対策を強化して欲しいです。	
10	子ども用の空間と大人用の空間の間に壁を設けるなど、大人用の空間と子ども用の空間を区切るように整備してください。	限られたスペースの中で皆さんにとってよりよい空間を創ることができるよう、いただいたご意見も参考にしつつ、今後検討してまいります。
11	壁や仕切り、本棚等で囲まれたブースの方が落ち着く利用者や集中したい利用者向けに、壁際に閲覧スペースとは隔離して、個別ブースを設けてください。	
12	子どもスペースのうち、児童とは別に幼児用のスペースとして囲われた空間を設けてください。	
13	プライバシー守られるような、学生さんの勉強スペース。一人で黙々と進められるブースとちょっと話せる[わからない問題]聞けるブース。 色んな人が行きやすい場所に作るからこそ、それぞれの目的に満足出来るような図書館本気で作ってほしい。	
14	自習室を設置して欲しいです。(WI-FI完備、席数多め)	
15	これまでの他館、学校図書館、まちなか図書館、夢文庫等の利用実績において貸出・予約の多い図書や、実績の傾向から貸出・予約が多いと想定される図書(「かいけつゾロリ」「NEWTON」等他多数)から、優先的に配架してください。	
16	色々なジャンルの本(鉄道関係とか)を備えて欲しいです。	
17	大学入試の過去問を備えて欲しいです。	あかし市民図書館や西部図書館と比較すると蔵書数は少ないですが、限られた冊数の中で、貸出・予約の多い図書や生活に役立つ本など皆さんに好まれるような本を選書し、配架する予定です。蔵書全体のバランスを配慮しながら検討してまいります。
18	参考書(数学や情報など)を備えて欲しいです。	
19	日常的に大学生などが通えるように専門書や専門雑誌、洋書などを増やして欲しい。新聞社の数も増やしていただきたいです。	

20	図書検索機は子ども用と大人用の場所を分けて設けてください。	子ども用と大人用で端末を分けて設置する予定です。
21	子ども向け雑誌・新聞・展示のコーナーは大人向け雑誌・新聞・展示のコーナーとは分けて、場所を設けてください。	キッズゾーンやマガジンゾーンといったエリア分けを行う予定ですが、二見図書館全体としては完全に子ども向け・大人向けと区別するのではなく、一部エリアにおいて子どもと大人が一緒に本を選び、楽しめるような配架を行いたいと考えています。
22	絵本、児童書は子ども本人が予約・リクエストを利用しにくいいため、特に優先的に、多く配架してください。	絵本、児童書の蔵書割合は、他の図書館よりも多く配架するよう検討してまいります。
23	大人向けだけでなく子ども向け雑誌、新聞(「子供の科学」「小学生新聞」等他多数)についても配架してください。	子ども向け雑誌、新聞等も配架するよう検討してまいります。
24	本館や西館と同様に、市内に蔵書の無い図書について、メールで予約・リクエストをし、必要に応じて国内の他館で所蔵している本を取り寄せ、二見図書館で受け取り、返却できる機能を持たせてください。市内の他地域と同等の図書に触れる機会を確保するために必要な機能です。	あかし市民図書館や西部図書館と同様に他館で所蔵している本を取り寄せ、二見図書館で受け取り、返却できる機能を持たせる予定です。ただし、県内の図書館に限ります。あかし市民図書館・西部図書館も県内の図書館のみ取り寄せしています。
25	本館や西館と同様に、市内の他館の図書について、オンラインで予約・リクエストし、二見図書館で受け取り、返却できる機能を持たせてください。市内の他地域と同等の図書に触れる機会を確保するために必要な機能です。	
26	他所の図書館から取り寄せできるようにしてほしいです。	
27	図書館にない本をリクエストできるようにしてほしいです。	

28	<p>予約・取寄図書受取コーナーを設け、事前に予約・リクエスト等のあった図書を配架しておき、受付に寄らずに自動貸出できる機能を持たせてください。人流をスムーズにできたり、スタッフ作業の平準化、外部化ができたりすることで、より効率的に貸出を行えます。長期休みや買い物の前後等の混雑する時期・時間帯でも、待ち時間を減らし、スムーズに利用することができるようになります。本館や西館より蔵書が少ない分、スペースが狭い分予約・リクエスト利用の需要が多くなるため、予約・リクエスト関連機能を充実させてください。子どもにとっては機械を使う楽しみが増え、スタッフに頼らないため、自立にも繋がります。</p>	<p>スペースに限りがあるため、予約・取寄図書受取コーナーを設け自動貸出できるようにするのは難しく、カウンターでの対応とする予定です。</p>
29	<p>自動貸出機、自動返却機を設け、受付に寄らずに自動貸出、自動返却できる機能を持たせてください。人流をスムーズにできたり、スタッフ作業の平準化、外部化ができたりすることで、より効率的に貸出を行えます。長期休みや買い物の前後等の混雑する時期、時間帯でも、待ち時間を減らし、スムーズに利用することができるようになります。本館や西館よりスタッフが少なく、スペースが狭い分、貸出・返却関連機能の供給が少なくなるため、貸出・返却関連機能を充実させてください。子どもにとっては機械を使う楽しみが増え、スタッフに頼らないため、自立にも繋がります。</p>	<p>自動貸出機、自動返却機を設置する予定です。</p>
30	<p>郷土資料、参考図書(事典、ポプラディア等他多数)等の禁帯出図書について、閲覧できる機能を持たせてください。郷土資料は少なくとも二見に関するものは配架してください(記念誌や歴史書等含む)。図鑑や事典等は本館や西館と同等のものを閲覧できるようにしてください。市内の他地域と同等の図書に触れる機会を確保するために必要な機能です。</p>	<p>二見地域に関する郷土資料を配架するよう検討しています。図鑑や辞典等については、スペースに限りがあるため、あかし市民図書館や西部図書館と同程度の配架は難しいですが、取り寄せにより貸出することは可能です。</p>
31	<p>一般書と児童書は区別してください。例えば、違う目的を持った目線の違うお年寄りと児童が同じ場所で動くことは危険であり、余分に配慮が必要になるため図書に集中しにくくなります。また安全の確保が進めば進むほど、保護者や介助者からの自律に繋がります。子育て支援センターのように子育て関連の図書に限定すれば、乳幼児向け図書の近くに子育て世代向けのものがあることはこの限りではないかもしれません。</p>	<p>児童書については、キッズゾーンを中心に配架する予定ですが、完全に一般書と児童書を区別するのではなく、一部エリアにおいて子どもと大人と一緒に本を選び、楽しめるような配架を行いたいと考えています。安全対策を考慮しながら、今後検討してまいります。</p>
32	<p>インターネット・視聴覚資料・データベース等閲覧用のPCは、常設ではなく必要に応じてノートPC等を貸し出す形とすること等でスペースを有効活用してください。</p>	<p>スペースの有効活用については、いただいたご意見も参考にしつつ、検討してまいります。</p>
33	<p>添付のレイアウト例のようなレイアウトとしてください。</p>	<p>レイアウトについては皆さんからのご意見を参考に検討してまいります。</p>
34	<p>開催したのはワークショップではないでしょうか。</p>	<p>説明会も兼ねたワークショップとして開催しました。</p>
35	<p>ワークショップの実施内容を公表してください。</p>	<p>現在、市ホームページに掲載しています。</p>

36	明石市内の住人等に限らず、誰でも意見を提出できる方が望ましいと思います。私は播磨町の住人ですが、計画地の近くに住んでおり、新しい図書館の計画を喜ばしく思っているので意見を言わせて下さい。	明石市市民参画条例に基づき、明石市民(市内に居住する者、市内で働き、若しくは学ぶ者又は事業者等)を対象としておりますが、今回のパブリックコメントやワークショップでいただいた皆さんのご意見も参考にしつつ、整備を進めてまいります。
37	<電子図書館との連携> 物として劣化しない、文字や絵の拡大縮小が可能、音声としても聞ける、外国語も翻訳できる等、様々な個人に対して柔軟に対応できる可能性が広がっています。現在の電子図書館は、本(データ)の貸出数に制限があり、貸し出されている時は閲覧すらできません。それには理由があるとは思いますが、例えば図書館に滞在している間は一つの本(データ)を複数人で共有閲覧可能にする等ができれば、図書館に足を運ぶ理由の一つになるかもしれません。	電子書籍について、複数人で共有閲覧可能とするかは、予算面も含めて検討してまいります。
38	<店舗内にある公園のような図書館> 店舗の一角(3F北西)のみで図書館機能を完結させるのは勿体ないので、店舗内ならどこでも誰でも本が読めるような仕組みを展開できれば面白そうです。現在の店舗内には既に多くのテーブルやベンチ等があるため、それらを活用できるようにしたり、人の流れが一番多い1Fに本を紹介するコーナーをつくるなど、本との出会いを演出し、自由に本と向き合える場所を設けることで、施設全体(店舗+図書館)における人々の滞在時間が増え、賑わいのある場所になるように思います。	財産である本の盗難防止の観点から、図書館のスペース内での閲覧のみで、他店舗で本が読めるような仕組みは想定しておりません。貸出後の本を閲覧することは可能であると考えています。施設全体の賑わいにつながるような他店舗との連携や協働については、今後検討してまいります。
39	ベビーカー、車椅子など安心利用を考えて、通路・閲覧エリア・書架間など広くとる。	スペースが確保できる通路は、ベビーカー、車椅子が通れるよう、通路幅をできるだけ広くとりたいと考えています。
40	地域のブックスポットと有機的な連携を図ること。又、地域には西高・二見中・二見・二見西・二見北小がある。小中高、学校と地域で地域の歴史、学校行事、相互の協働などのプラットホームになってほしい。	地域のブックスポットや学校や店舗などと連携をとり、相互に協働できる仕組みを検討してまいります。
41	図書館協議会の新設。二見、西明石と分館が増える。	現在実施している図書館間での協議の場の拡大を検討してまいります。
42	可能なら、あかし市民図書館のようにカフェスペース(飲み物を飲みながら読書を楽しむ)コーナーを作って欲しいです。	あかし市民図書館と同様、蓋つきの飲み物は館内に持ち込んでいただけるようにしたいと考えています。
43	学校に近いこともあり、学生の自習室、学習参考書等の充実したスペースを設けて欲しい。飲食 おしゃべりは禁止。	利用者の皆さんが学習に役立てていただけるスペースを整備する予定です。参考書については、蔵書全体のバランスを考慮しつつ検討してまいります。また、従来の静かな図書館ではなく、会話や情報交換の中から多様な交流や出会い、つながりが生まれる図書館にしたいと考えています。

44	<p>本を読みたい、静かな環境で読書したい、お子さん連れ、買い物の待ち時間に、カフェ的な使い方にプラスして、(お?)と思うような本や雑誌に手を伸ばしたくなるような棚作りしてください。</p> <p>『まあ…ただ座っとくよりちょっと読んでみるか』入り口は何でも良いから【本のまち】掲げたいなら入り口広げましょうよ。どんな人でも親しめるような図書館作りましょうよ。</p>	<p>普段積極的に図書館を利用しない方でも関心のある分野にアクセスしやすくなるような配架や展示方法を心がけてまいります。</p>
45	<p>ヨーカドーに図書館作るなら同フロアの書店で購入にも繋げられるように『これ欲しい』を渡すだけで「此方ですね。」とすぐ出るようにカウンタに準備できるようにする。或いは図書館内で書店の置いてある場所の地図に○印付けてプリントアウトとか。</p>	<p>施設全体の賑わいにつながるような他店舗との連携や協働については、今後検討してまいります。</p>
46	<p>各小学校で行っている読み聞かせグループとのコラボ。小学校だけで終わるのは勿体ない。各学校の読み聞かせリストから図書館への利用に繋がったら良いよね。</p> <p>数年前に一度だけ参加した読み聞かせグループの講習会。もっと子供たち盛り上げて親御さんも巻き込んで、そんな親御さん世代にピッタリな刺さる棚作りして。</p> <p>「昨日のこの本凄く面白かった！」なんて親子が本に親しむきっかけになって欲しいなあ。</p>	<p>地域の様々な方が本に関心を持ち、楽しんでいただけるようなイベントを実施していきたいと考えています。また、図書館でのイベント企画・実施だけでなく運営面においても、学校園やボランティアなどと連携し、協働できる仕組みを検討してまいります。</p>
47	<p>手を伸ばせば本に届く町は賛成ですが、ペーパーの本ありきの図書館に関しては大反対です。これからの時代本当にペーパーの本を読むでしょうか？子供たちはタブレットで勉強している時代です。</p> <p>また、コロナ以降他人が使った物に関してアルコール消毒等一部過剰なぐらい衛生面に敏感になってる方も多いです。</p> <p>私自身どんな汚い家の人か触った(借りて自宅で読んだ)のかと思うと便利な場所であっても借りるつもりはありません。</p> <p>また、便利という面でも今はKindleで24時間いつでも本が買える状態です。</p> <p>ただ購入には躊躇うような専門書等もう少しサンプルページを増やして欲しいと思う事は多いです。</p> <p>そんな時にデジタル図書館があればいいのにといつも思っています。</p> <p>本が汚れる事ありませんし、未返却になる事も(強制的に閲覧禁止にすれば良い)なくなるでしょうし。無駄な人員も場所も必要ありません。</p> <p>なぜ今更ペーパーの図書館なのか理解に苦しみます。</p> <p>是非ともデジタル図書館を検討いただき、ペーパー図書館の白紙撤回を願います。</p>	<p>「いつでも どこでも だれでも」手を伸ばせば本に届く「本のまちづくり」を推進する本市では、あかし市民図書館や西部図書館へのアクセスが不便な二見地域への図書館整備が必要と考え、二見図書館を整備することとしました。</p> <p>二見図書館でもあかし市民図書館や西部図書館と同様に電子図書館サービスを導入する予定ですが、ペーパーの本が無い完全なデジタル図書館では、現状では年齢やデジタル環境の差によって、本に触れる機会の均等性を損なう恐れがあると考えています。</p> <p>図書館のデジタルサービスについては、皆さんの意見も参考にしながら、より充実したものになるよう検討してまいります。</p>